

投資と要求に合ったITプロジェクトの見極め方【会場】（4125126）

これからのIT部門は、競争力のある差別化システムを作るため、「QCD、SLAの達成」から、企業が継続して成長していくために立てられた「組織戦略と価値創造達成」に更に視点をあげ、どう実現すべきか戦術が問われています。そして更に、ビジネス戦略に沿ったIT戦略へのIT投資が、企業に更には社会・市場へどのような貢献・変化の影響を与えていくか、測定し明示することが求められています。

開催日時	2025年10月16日(木) 10:00-17:00会場
JUAS研修分類	ITアーキテクト・システム企画・IT基盤(IT戦略策定・IT投資評価)
カテゴリー	IS戦略策定・IS戦略評価・IS企画・IS企画評価 IS戦略実行マネジメント・プロジェクトマネジメント 専門スキル
講師	中谷英雄 氏 (株式会社ピーエム・アライメント 取締役 ビジネスコンサルティング部長) PMI認定PMP 2013年 米国PMI最優秀教育プロバイダー認定 スクラムアライアンス認定スクラムマスター (CSM) プロダクトオーナー (CSP0) ＜略歴＞ 1. BIPROGY (旧：日本ユニバック) (1983年～) 2. 三井住友信託銀行 (旧：三井信託銀行) (1990年～) 3. ピーエム・アライメント (2006年～現職) ・主に金融IT大規模プロジェクトのPMO支援に従事。 ・その後大学院でデザインマネジメントを学び、社会課題の解決、金融商品の開発等でデザイン、アート、顧客体験等を活用。 ・現在、新事業創出、デザイン戦略、イノベーションとDX推進に関わる諸テーマを中心に、コンサルティング活動、教育活動を展開している。 ＜研究会活動＞ ・PM関連：PMIJ会員(アジャイルPM研究会会員、プログラムマネジメント研究会会員) ・イノベーション関連：JUAS (イノベーション研究会会員JIIP3) PMIJ会員(ソーシャルPM研究会) ・震災復興関連のNP0向けに、イノベーションプロセスの活用支援展開中 ＜PM関連書籍著＞ 監修 PMI 日本支部 「PMツールの実践的活用」プロジェクト 翻訳メンバー PMIプログラムマネジメント標準 第2版
参加費	J U A S会員/ITC：35,200円 一般：45,100円 (1名様あたり 消費税込み、テキスト込み) 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会 (NBF東銀座スクエア2F)
対象	プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーの上級を目指す方、IT企画の方など 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。(2時間1ポイント)
特記	※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。7PDU取得(スキルエリア：戦略&ビジネス)
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態

会場のみ（オンラインなし）

■テキスト

当日配布

■開催日までの課題事項

特になし

◆◆投資と要求に合ったITプロジェクトの見極め方

～社会的にインパクトのあるプロジェクトを測定、可視化、説明、実践する具体的方法～◆◆

◆本講座の特徴◆

1. ビジネス戦略とIT戦略のリンケージの重要性を理解し、実現する具体的な手法を習得する。

2. IT投資をベースに、成功とはどのように測定するのか、具体的方法を習得する。

3. IT活動の成果を超えて、市場・社会への変化の影響（インパクト）の測定方法を習得する。

4. プロジェクトの優先順位付け、プロジェクト撤退の客観的な説明方法を学ぶ。

5. プロジェクトの上に存在する上位フレームワークを理解し経営が要求する全体観を身に付ける。

◆趣旨

これからのIT部門は、競争力のある差別化システムを作るため、「QCD、SLAの達成」から、企業が継続して成長していくために立てられた「組織戦略と価値創造達成」に更に視点をあげ、
どう実現すべきか戦術が問われています。
そして更に、ビジネス戦略に沿ったIT戦略へのIT投資が、企業に更には社会・市場へどのような貢献・変化の影響を与えていくか、測定し
明示することが求められています。

「プロジェクトの責任者として、どのような視点で組織戦略との合致を確認したらいいのか」
「プロジェクト計画時、プロジェクトのアウトプット（成果）を顧客の企業価値に結び付けるには、具体的にどうすれば良いのか」
「IT組織の活動（プロジェクト、サービス、ソリューション）の成功とはどのように定義、測定されるのか？」
「組織戦略目標との合致を確認し、具体的にどのような方法でプロジェクトの選定／中止の意思決定を行えばいいのか」
「これからプロジェクトを統括する立場（PMO、品質保証組織、IT企画）になるうえで、何を押さえておくべきか」など、ご検討されている
プロジェクトマネージャー、プロジェクトマネージャーの上級を目指す方、IT企画の方など必見の講座です。

◆参加者の声◆

- ・ 経営に対する説明方法、フレームワークを学べ、非常に良い題材で実践的な内容だった。（製造業）
- ・ 実際にプロジェクトを執行するか、撤退するか判断をすべき立場にあり、理論的で理解が深まった。（建設）
- ・ 事業環境が厳しい中、これまでのマインドのままではダメであるという考え方と、何をすべきか刺激をうけた（製造業）
- ・ ワークショップを通じて理解が深まる仕組みになっており、実務に即役に立つ。（製薬）
- ・ 難しいテーマにもかかわらず、講師の説明が分りやすかった。（IT系）

◆内容

1章. 市場を取り巻く環境変化

- （1）DX成功率が1桁台の日本企業
- （2）ネットにつながるデバイスの増加
- （3）進化するデジタル技術
- （4）データドリブン経営の真意
- （5）社会的インパクトを追求する

2章. 投資要求に合った価値連鎖の説明

- （1）投資要求に対する説明に関する現状認識
- （2）企業におけるインパクト測定の狙い
- （3）インパクト創造サイクル
- （4）インパクト測定計画作成手順
- （5）インパクト測定計画 事例紹介

<演習1>

3章. インパクト測定計画を用いて、価値創出を説明する

- （1）主要なインパクトを特定する
- （2）一次インパクトを洗い出す
- （3）二次インパクトを洗い出す
- （4）ベネフィットマップを完成させる
- （5）測定データ収集計画を作成する
- （6）経営者に、価値提案を説明する

4章. 選択と集中、投資価値の最適化方法を体得する

- （1）ポートフォリオの基本的な考え方
- （2）様々な優先順位付け方法の紹介

<演習2>

プロジェクトの優先順位付けの根拠を論理的に説明する

<演習3>

プロジェクト撤退の理由をステークホルダーに論理的に説明する

5章. ポートフォリオ運用上の留意点

- （1）合理的手法の限界
- （2）損得計算だけでは解けない問題
- （3）何故か、「ピン」とこないのですが・・・

- (４) ビジネスの意思決定は「理性」から「理性と感性」の融合へ
- (５) 「理性」適切な選択と意志決定
- (６) 「理性」多くの選択肢にどう応えるか
- (７) 事例１：P&Gのポートフォリオの選定基準
- (８) 事例２：アルファベット（グーグル）のポートフォリオ
- (９) 撤退、中止の意思決定上の留意事項
- (１０) 「撤退の巧拙」が事業創出のカギ
- (１１) エスケレーション・オブ・コミットメント

全体振り返り

※PMP資格取得者の方へPDU取得修了書、これからPMP資格を目指す方には、「受講証明書」を発行いたします。7PDU取得（スキルエリア：戦略&ビジネス）